

評価の結果に対する対応方針

(事前評価)

①避難意志決定要因に基づく海岸災害からの避難促進に関する研究

評価結果を踏まえ、避難促進施策の実施における国・地方公共団体・住民の間の連携・役割分担及び高齢者の取り扱いが明確になるように、避難促進効果及び実行可能性の観点から各主体の役割等を整理し、避難促進施策の試行を通じて十分に検討して参りたい。

また、施設整備の心理的影響を含め避難意思決定要因を詳細に分析し、その結果をもとにワークショップなどの避難促進施策の効果的な進め方を検討して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、十分に念頭に置いた上で、研究を進めて参りたい。

②大規模地震災害時の交通ネットワーク機能の維持と産業界の事業継続計画との関連に関する研究

評価結果を踏まえ、本研究では東海地震、首都直下地震等の大規模地震に着目し、具体的な場所・規模を想定して、企業のBCP策定に必要な情報等の検討を進めるとともに、構造物への影響の評価等に関しても、想定した災害の規模等を踏まえて検討を進めて参りたい。また、交通ネットワークとして道路に主眼をおきつつも、水路や空路など他の交通手段の活用・連携を考慮した緊急時交通ネットワークの機能維持の方策についても研究を進めて参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、十分に念頭に置き、研究の意義と方法論の関係を整理し、効率的かつ早期に成果が得られるよう研究を進めて参りたい。

③国土保全のための総合的な土砂管理手法に関する研究

全国的に顕れている土砂移動に関わる問題を処理するための手法を示すことを目標としているが、まず天竜川をケーススタディーとして取り上げ、具体的な課題の処理を通じて健全性の評価手法を確立して参りたい。研究の実施に際しては、社会的・文化的側面を意識しつつ、安全・利用・環境といった多面的なものを総合的に評価する手法の構築を目指したい。

また、平常時の土砂管理と異常土砂生産時の土砂管理の摺り合わせの考え方に関しても検討を進めて参りたい。